

第2回 議会報告会 実施報告書



平成26年5月24日、25日開催

栗東市議会

報告書目次

1. 議会報告会の概要	1
2. 主な質疑、意見等	3
3. 参加者へのアンケート結果	10
4. 写真	19

1. 議会報告会の概要

(1) 主催

栗東市議会

(2) 開催日時・会場

開催日	時間	会場	参加者
5月24日(土)	13時30分～15時00分	コミュニティセンター葉山東	9名
	19時30分～20時50分	コミュニティセンター大宝西	17名
5月25日(日)	13時30分～15時05分	コミュニティセンター金勝	23名
	19時30分～20時50分	コミュニティセンター治田西	28名

計 77名

(3) 次第(各会場共通)

開会

- ・市民憲章の唱和
- ・開会の挨拶
- ・議員自己紹介

第1部 議会報告

3月定例会での各常任委員会の審査概要を、パワーポイントを用いて報告しました。

- ・総務常任委員会
所管事項「政策推進部、総務部、市民部」など
- ・環境建設常任委員会
所管事項「環境経済部、建設部」など
- ・文教福祉常任委員会
所管事項「健康福祉部、教育委員会」など

第2部 意見交換

「防災について」などをテーマとして、意見交換をしました。

閉会

- ・閉会の挨拶

(4) 役割分担

役割		5月24日(土)		5月25日(日)	
		葉山東	大宝西	金勝	治田西
班長		高野 正勝	高野 正勝	中村 昌司	中村 昌司
副班長		田村 隆光	田村 隆光	山本 章	山本 章
司会		上田 忠博	上田 忠博	林 史代	林 史代
報告者	第1部	北川 健二	北川 健二	片岡 勝哉	片岡 勝哉
		寺田 範雄	田村 隆光	三浦 悟	小竹 庸介
		櫻井 浩司	櫻井 浩司	太田 浩美	太田 浩美
	第2部	林 好男	林 好男	藤田 啓仁	藤田 啓仁
記録者		三浦 悟	三浦 悟	國松 篤	國松 篤
		大西 時子	大西 時子	小竹 庸介	三浦 悟

2. 主な質疑、意見等

(※)は市へ伝えると回答したもの。

Q1(※)

地域防災力向上のため、防災士は良い制度である。防災士の資格取得試験までの流れについて知りたい。

A 防災士とは、NPO法人の日本防災士機構が定めたカリキュラムに沿って2日間の講習と資格認定試験を受けて合格の後、消防本部等、公的機関が主催する救急救命講習を受講し、その履修証明または認定証を取得した者をいいます。資格取得に必要な受講料及び検定料は市で負担されており、受講時期は8月頃に予定されています。

Q2(※)

自治会における防災士の必要性や位置づけ、自治会長・自衛消防隊等との関係について詳しく知りたい。

A 「防災士」の資格を持った人を地域では「防災リーダー」と呼ぶこととなります。この防災リーダーは、平常時における防災意識の啓発や訓練などを担い、公的支援に至るまでの被害の拡大の軽減活動を期待されています。

防災士養成の目的は、地域の住民にどのような方がおられるかを踏まえた消火訓練や避難訓練などを考えていかなければならない時、自治会長と共に地域の指揮が執れる人、日常的に訓練できる能力を持った人を養成することにあります。

市では、昨年台風18号の被害を踏まえ、地域の防災リーダーとしての人づくりを推進していくために、防災に対する意識や知識の啓発及び技術を有する防災士の養成に取り組むこととし、今年度は50名程度の養成を目指しています。



上記 Q1 と併せて、防災士の具体的内容を知りたいと意見があった旨を市へ伝えました。

Q3(※)

まず最初に、自治会長に防災士研修を受けていただき、その後試験を受ける人があってもいいのではないかと。また、推薦とかも自治会長がするのか。

自治会によって、防災の取り組み状況が異なることから、自治会の実態に応じた組織づくりをしていただくとともに、人がなかなか出てこない場合でも、市の働きかけを積極的に行ってもらい、自治会任せにならないようにしていただきたい。

A 持ち帰って、当局に提案をさせていただきます。

各自治会では、色々な状況が生じると思いますが、ご意見があったことを行政に伝えながら、今後の取り組みを行っていきます。



自治会の実態に応じた防災士の育成を求めるご意見として市へ伝えました。

Q4(※)

「避難行動要支援者名簿」は、どのように作成されるのか。

また、亡くなっている方も記載されている可能性があるので注意していただきたい。

A 地域の中で、支援の必要な方を把握する事が重要であり、現在「避難行動要支援者名簿」の作成に取りかかっています。しかし、個人情報等の関係もあり、住民の皆様のご同意も含め協力も必要であり、担当部局において名簿への記載確認を得て行っています。

議会としても、重要な事だと認識して取り組みを進めて行きます。



避難行動要支援者名簿作成時の留意事項としてご意見があった旨を市へ伝えました。

Q5

名簿情報を自治会長や民生委員はどのように扱うのか。また、障がい者をはじめとする避難行動要支援者に対し、災害時の避難支援の対応はどのようにするのか。

自治会の特徴に応じて、お互いに助け合っていくことが必要ではないか。

A 名簿の件は、議会でも先進事例の研修に行き、実際に取り組んでいる状況を聞いています。避難時に支援の必要な方の情報を把握していたために、被害を

免れたという事例も聞きました。集約した「要支援者名簿」は、地域の自治会長や民生委員さんにお渡しし、災害時の避難や防災訓練などに活用していただきます。

議会としては、「要支援者名簿」の作成が一日も早く達成できるよう行政に進言しています。

Q6

昨年(平成25年)の台風18号による災害を踏まえた見直しはされているのか。

A 地域防災計画の骨格の計画はできていますが、マニュアルはこれから作成されます。

Q7

防災計画は量が膨大すぎて、目を通すだけでも大変である。自治会長の仕事をあまり増やさないでいただきたい。

A 意見のあった部分も含め、しっかりと今後の防災力を向上していけるように、ともに取り組んでいきたいと考えます。

Q8(※)

防災基本計画は、どの程度の災害を想定して策定されているのか。また、想定以上の災害が起こったときの市の対応は。

A 県は琵琶湖西岸断層帯でマグニチュード7.8の地震が発生した場合、栗東市の揺れを震度6弱が最高の数値として想定しているのので、それを、本市の防災計画の目安としています。

被害状況としては、死者が5人程度、負傷者が600人程度、罹災者は7,300人、避難所生活者が2,100人、建物の全壊・大破が800棟、半壊・中破は1,700棟、出火が3件程度という想定をしています。また、水害等はハザードマップというものがつくられており、危険な場所の把握、急傾斜地の把握を行い、災害を防ぐために工事や対策をとっています。

防災とは、災害を防ぐ部分、生命と財産を守るものであるのので、その規模によって対応していかなければならないと考えます。

また、栗東市は愛知県知立市や、奈良県香芝市、福井県越前市と災害協定を締結しています。その協定は、職員の派遣、物資の共有など。また、企業とも締結し、物資の支援等をする事としてしています。

Q9(※)

琵琶湖が敦賀の原発事故で汚染した場合、水道水はどうなるのか

A 琵琶湖は近畿地区にとって非常に大きな役割を担っており、原発事故による汚染は深刻な問題となっています。本市の場合、直接というより7割近くが地下水なので、一定安心はしています。

滋賀県も、福井の原発から近いところで20キロ圏内にあるため、県は、国に対し原発立地自治体と同レベルの避難体制を取れるよう申し入れています。



(Q8, 9 について) 原発事故や想定外の災害発生時における本市への影響や市の対応について、質問があった旨を市へ伝えました。

Q10(※)

コミセンの中に災害時に対応できる地域における避難所等の地図や図面がない。

A 行政への意見として、持ち帰って伝えます。



ご意見として市へ伝えました。

Q11

防災指導員は何年度から配置するのか。

A すでに1名が配置され、各自治会を巡っています。

Q12

防災無線が聞き取りにくい。インターネット登録により、携帯電話への情報提供ができるよう改善してほしい。

A 他の自治会からも聞いており、総務常任委員会でも取り上げています。増設や音量調整だけでは解決が困難な問題でもあり、防災無線の電話サービスやメールサービスなどの様々な方法で補完しています。

(参考) 防災行政無線フリーダイヤル 0120-031899

Q13

防災教育は。防災計画を作成しても住民がどれだけ理解し、行動するかは行政の働きかけにかかっているのではないか。

各自治会においても防災(避難計画)について考えると思うが、元になるガイドラインを県や市は策定しているのか。

A 防災は、住民全員が意識を向上し、地域は地域で守ることが大切です。地域のつながりが基本となります。

各自治会で取り組みをしていただいていることは非常に心強いです。栗東市の防災計画の中に『市は避難時に、安全かつ迅速な避難・誘導を行えるようあらかじめ避難計画を作成する』と明記してあります。現在、その具体的な避難計画の取り組みを進めています。

Q14

市議会が策定された災害対応方針に「災害対応連絡会議」が設けられているが、どういうものなのか。

A 昨年の台風18号では、市内で議員18名がそれぞれの地域に出て対応していましたが、地域によって被害状況も違い、地元の議員として地元の方と対策をとっていたため、情報が一つになりませんでした。

議会は、まず議員の安否を確認し、そして議員が集合して、迅速な判断・行動ができるようにすることを目的として「災害対応連絡会議」を設置しました。それを5月23日から施行しましたので、今後「災害対応連絡会議」や訓練も含めて議会として取り組んでいきます。

Q15(※)

昨年度の台風では、直ぐに市で対応されたが、被災箇所によっては対応後、自治会の者だけが残っていたところがある。現場には最低限一人、市職員等の責任のある方がいてほしい。

- A** 昨年の台風18号の災害対応で、市内の地域のなかで混乱をきたしたところもありますが、その反省を生かして、防災計画の見直しがされました。連絡体制、情報の共有も含め、今後必要なマニュアルの作成に取り組みますので、その辺をご理解ください。ご意見として行政のほうにも伝えさせていただきます。



今後の災害対応の参考とするよう市へ伝えました。

Q16

平成25年度の防災訓練を中止された理由は。

- A** 警報発令が出る条件があり、中止となりました。

Q17

平成26年度国民健康保険特別会計予算を増額した理由は。

- A** 高齢化が進み医療費が増え、給付より上回っている状況です。国・県に対して、安定化のための要望を行っています。

Q18(※)

デイサービスに関しては、知的好奇心を持ち、社会参加の役に立つことを求める方たちが多い。団塊世代の知的好奇心をどのように考えているか。

- A** デイサービス部分とデイサービスにかからない老人福祉サービスで考えていく問題であり、介護保険計画に反映できるよう市の方へ伝えます。



団塊世代の知的好奇心が介護保険計画に反映できるよう市へ伝えました。

Q19

全国的な少子化のなかにあつて、本市は子どもが増えている。
保育士不足の問題は、保育士を正規職員にすべきでは。
臨時職員と正規職員を同じ給料にしているかどうか。

- A** 本市は、幼稚園や保育園の申し込み者は横ばい傾向にあります。
臨時職員を正規職員にするよう働きかけもしています。
臨時職員は、人員確保のために、働きたい人の時間帯に合わせて雇用される
ケースもあり、ご理解のほどお願いします。

Q20

金勝地域のイノシシ・シカの獣害対策は。

- A** フェンスを延長して設置します。
本市では、銃による捕獲をしていないので、檻が必要となります。

Q21(※)

昨年の台風18号により林道の補修がされていない箇所がある。生活上、困る
箇所については、早急に補修して欲しい。

- A** 林道の復旧は3か年を想定しているが、ご指摘の箇所については持ち帰り、
早急に行政側に伝えます。



林道の復旧について常任委員会等で議論し、早急な対応を市へ求めました。

Q22

新幹線新駅跡地の今後の活用方策は。

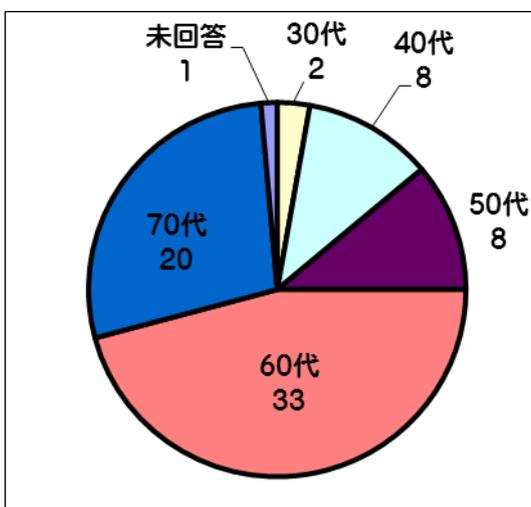
- A** 新幹線跡地の後継プランは、LEJの1期・2期工事も終わり操業が行われ
ており、他の跡地についても鋭意取り組んでいる最中です。

3. 参加者へのアンケート結果 回答者 72名

(1) 年齢

	人数	率
20歳未満	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	2	2.8%
40代	8	11.1%
50代	8	11.1%
60代	33	45.8%
70代	20	27.8%
未回答	1	1.4%

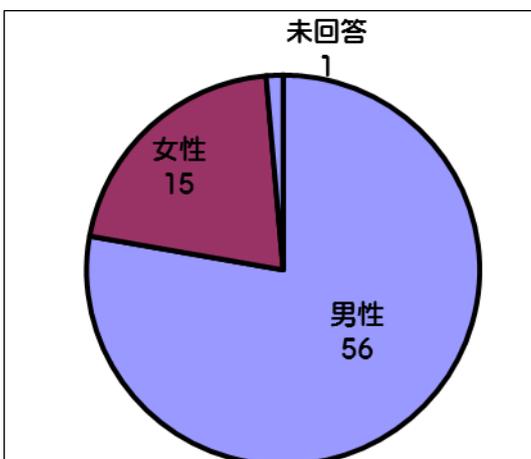
計 72



(2) 性別

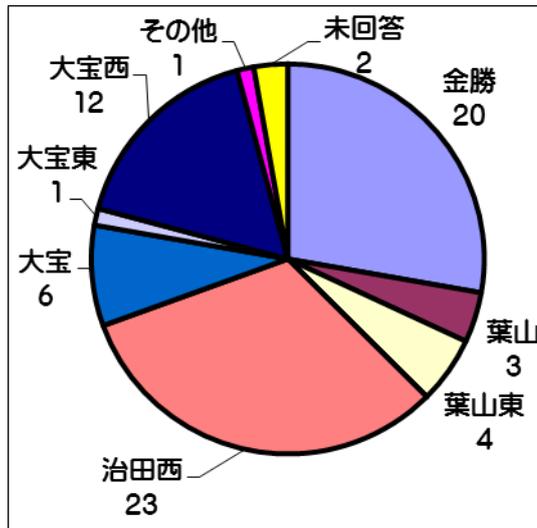
	人数	率
男性	56	77.8%
女性	15	20.8%
未回答	1	1.4%

計 72



(3) 住まいの学区

	人数	率
金勝	20	27.8%
葉山	3	4.2%
葉山東	4	5.6%
治田	0	0.0%
治田東	0	0.0%
治田西	23	31.9%
大宝	6	8.3%
大宝東	1	1.4%
大宝西	12	16.7%
その他	1	1.4%
未回答	2	2.8%



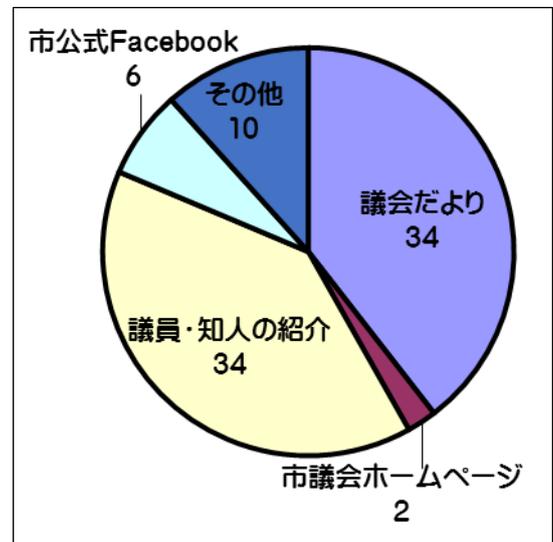
計 72

(4) 議会報告会を何で知りましたか。(複数回答)

	人数	率
議会だより	34	39.5%
市議会ホームページ	2	2.3%
議員・知人の紹介	34	39.5%
市公式 Facebook	6	7.0%
その他	10	11.6%

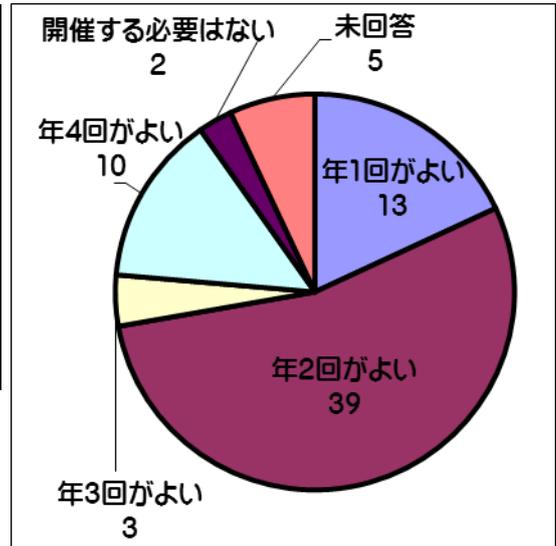
計 86

その他
 広報、市より、自治会長より、コミセンより



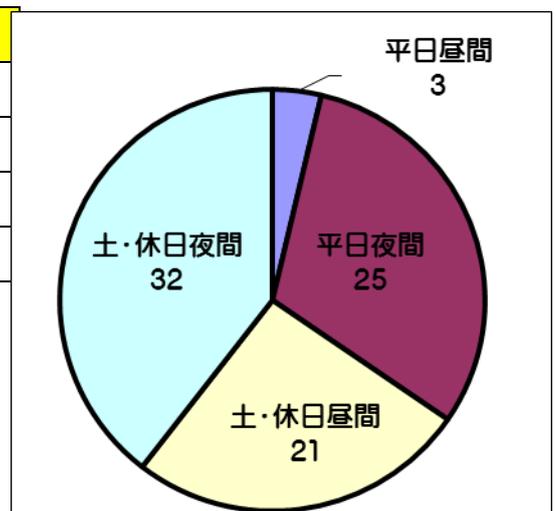
(5) 議会報告会の開催回数ほどの程度がよいと思いますか。

	人数	率
年1回がよい	13	18.1%
年2回がよい	39	54.2%
年3回がよい	3	4.2%
年4回がよい	10	13.9%
開催する必要はない	2	2.8%
未回答	5	6.9%
計	72	



(6) 開催する時間帯はいつごろがよいと思いますか。(複数回答)

	人数	率
平日昼間	3	3.7%
平日夜間	25	30.9%
土・休日昼間	21	25.9%
土・休日夜間	32	39.5%
計	81	



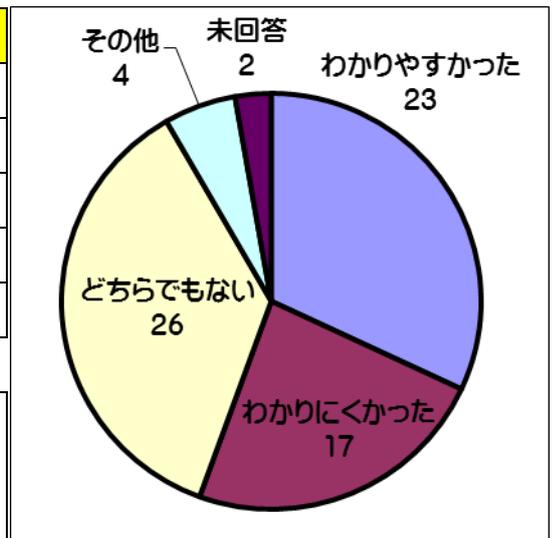
(7) 議会報告会の内容はわかりやすかったですか。

	人数	率
わかりやすかった	23	31.9%
わかりにくかった	17	23.6%
どちらでもない	26	36.1%
その他	4	5.6%
未回答	2	2.8%

計 72

その他

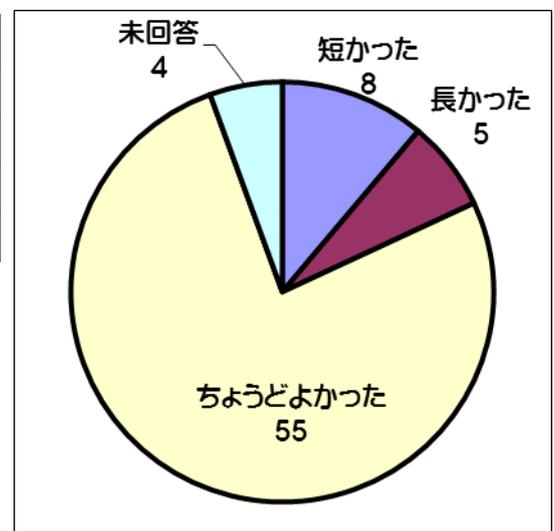
- ・説明能力の向上のため、重要な話し方の学習を。
- ・委員会によってわかりやすさが多少違った。
- ・テーマによってわかったりわからなかったりした。
- ・どの資料を見るのか説明した方が戸惑わずに聞けたと思う。
- ・担当議員の説明をわかりやすくしてほしい。



(8) 議会報告会の時間はどうでしたか。

	人数	率
短かった	8	11.1%
長かった	5	6.9%
ちょうどよかった	55	76.4%
未回答	4	5.6%

計 72



平成 26 年度 議会報告会 アンケートのご意見への回答

	ご意見・ご要望の概要	栗東市議会としての回答
議会報告会に関して	○開催回数について 年2回がよい 54.2%、年1回がよい 18.1%、年4回がよい 13.9%	今年度は1回で設定しております。 よって、次年度以降に検討させていただきます。
	○開催の時間帯について 土日休日・夜間 39.5%、平日の夜間 30.9%、土日休日の昼間 25.9%	今回は土日の開催でしたが、平日夜間の開催を望まれる方が多いことがわかりました。 今後は平日夜間の開催も検討していきます。
	○報告会の説明等におけるわかりやすさ ・説明能力の向上に重要な話し方の学習を。 ・もう少し詳しく、わかりやすい言葉で説明してほしい。 ・委員会によってわかりやすさが多少違った。 ・テーマによってわかったりわからなかったりした。 ・どの資料を見るのか説明した方が戸惑わずに聞けたと思う。 ・担当議員の説明をわかりやすくしてほしい。	話し方や言葉・説明の仕方など工夫を重ねていきたいと思えます。 報告の仕方についても、委員会別・テーマ別など、わかりやすい方法を検討していきます。
	○報告会参加者数・宣伝などについて ・開かれた議会として、報告会はとてもよいことで続けていただきたい。ただ、参加者が少ないことは残念。また、すべての方に理解していただける方法が難しい。 ・報告会の案内を議会だよりでされたとのことでしたが、もっと広く宣伝された方がよいかと思う。 ・会の開催を知っている人が少なく、広報活動を見直す必要がある。せっかくよいことをしても、来てもらわなければ残念である。	議会報告会の周知・宣伝の方法については、他市の市議会の取り組みも参考にしながら、工夫を重ねていきます。ご協力よろしくお願ひします。

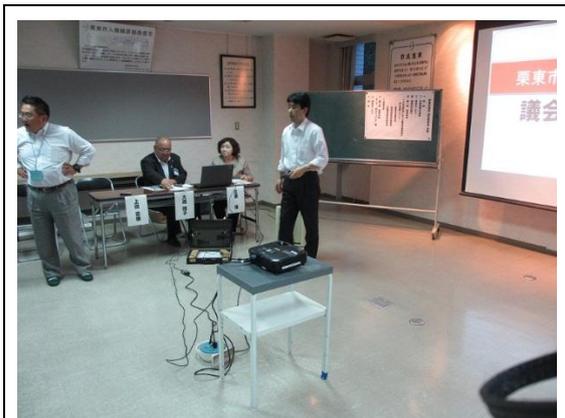
	ご意見・ご要望の概要	栗東市議会としての回答
議会報告会下関して	<p>○開催時間の長さについて ちょうどよかった 76.4%、短かった 11.1%、長かった 6.9%</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
	<p>○報告会の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告内容を1件ずつ話し合うのはどうか。 ・市が説明すべき内容を報告会で話している感じがする。 ・市の防災計画の見直しについて、議会としてどのように関わったか報告してほしい。 ・市長との話し合いと議会との話し合いが、同じような内容であるため、違った方向の話をしてはどうか。 ・各種可決された事項が、議会としてどう質問して、内容がどのように変わったか説明してほしい。 ・もう少し焦点や照準を絞ったテーマを選んで議論したほうがよいのではないか。(防災、福祉など) ・議会報告会は資料を読んだらわかるので、資料に対して議員さんの言葉で補足説明が欲しかった。 ・住民の方には市議会は敷居が高いと思われる。普段より住民の方にもわかりやすい言葉で発信してほしい。 	<p>防災計画の見直しなど市の提案（議案）に対して、議会から出た意見等の報告が少ないとのこと指摘だと思います。</p> <p>また、1件ずつ話し合う・補足説明・まとを絞った提案などは、報告会の持ち方に関する事ですので、検討させていただきます。</p> <p>今後の報告会で対応していきたいと考えます。</p>
	<p>○資料やパワーポイントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料をもらえるとよい。当日、本人から資料請求があった場合のみ渡す形でよいのではないか。 ・議会報告会の実施を知ったのが3日前であったため、もっと早く知りたかった。資料を各自治会へ配布して報告内容を知りたかった。 ・パワーポイントをもっとスムーズに切り替えられるように準備してほしい。 ・第2部で資料とスライドの書き方が異なっていて少し戸惑った。 	<p>パワーポイントの操作とともに、資料の内容もよりわかりやすいものに充実していきたいと考えます。</p> <p>資料の事前配布についても、検討します。</p>

	ご意見・ご要望の概要	栗東市議会としての回答
議会報告会に関して	<p>○その他のご意見・ご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上辺だけの報告で内容が希薄であった。報告会はある意味、議会として住民との距離を縮める一つの手段であると思う。議会運営の帳面消しに終わったように感じる。 ・議員の皆さん、栗東市民のことをよく考えて努力してください。 ・市民の要望が実現できるようがんばってください。 ・市民の代表としての議員の資質の向上はもちろん、より市民の声をきめ細かく収集し、市政へ反映させていきたい。 ・非常に熱心であり感服しました。 ・この報告会の必要性がわからない。単なる報告会で、興味を引く内容は一つもありませんでした。 ・思っていたより多くの人に来ていた。 ・いろいろな意見が出てよかったと思う。 ・新幹線新駅の件で、本年度の知事選で滋賀県に新駅の設置を掲げる候補者が出ると思うが、議会としてはどう対応するのか。資料の中に記載している跡地の工場誘致を進めて、新駅設置は要望しないのか。今後の方向性を議会だより等により報告ください。 ・議会の活動内容が分かる、よい機会だと思う。 ・政治、行政に対し、アレルギーとでも言うような反応があるように思う。関心を持ってもらうにはどのようなことをすればよいのか、議会報告会を続けていく中で検討、実行していくことが必要と考える。 ・議員さんが一生懸命頑張ってくださっていることがよくわかり、大変有難く思っていますけれども、少しずつでもよい方向へ導いてくださることを期待しています。ありがとうございます。 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の議会報告会の持ち方や議会活動において、参考にさせていただきます。</p>

	ご意見・ご要望の概要	栗東市議会としての回答
市政に関する質問	<p>○防災に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士か自治会長、どちらの方を重点に置けばよいのか。 ・避難要因、支援される方の計画はわかりましたが、実際どこに避難するのか。それを知っている人は少ないのではないか。また、避難する箇所も少ないのではないかと思う。 ・災害時支援者の名簿の作成について、障害者手帳を持っている全員が要支援者の対象にならないのはなぜか。なるべくお願いしたい。 ・防災について、アパート暮らしの方は、オーナーと話す機会が少ないため、避難場所を把握できていない。栗東市内の避難場所を一度広報等に載せて頂けないか。 ・隣近所との関係を大切にしていく方がよいとのことだが、障がい者、またその家族はあまり自ら障がい者であることを言えないので、どうしたらよいのか。 ・防災訓練は天気によらず、年に何度も行うようにすること。 ・防災については、井戸が必要で、各地域に飲料用の共同井戸を計画するべき。 ・防災に関して、マニュアル頼りではいけない。市民が自主的に対応する必要があるのではないか。もっと正しい情報を提出されたらどうか。 	<p>市政に関するご要望・ご意見につきましては、市政運営の中で活かしていけるよう、継続的に働きかけていきます。</p>

	ご意見・ご要望の概要	栗東市議会としての回答
市政に関すること	<p>○福祉について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者のサロンについて、なごやかセンター内で行われているとのことだが、どの様に登録していくのか。あけぼの会(家族会)も同様に。 ・保育士の件、臨時職員も給料を同じにしてはどうか。(時間給を同じにする) ・9小学校区にある各児童館の利用日について、現在の休館日が一日でも減り、以前のように全ての児童館で月曜から土曜まで開館ができるよう希望します。また、児童(18歳まで)がきちんと利用できるよう、今後夜間の開館も検討していただけると嬉しい。施設の有効な利用を望みます。 <hr/> <p>○まちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安心安全対策を地域全体で考えよう。皆さんの子ども、孫達はどこかでお世話になっていると思う。 ・市の均衡ある発展のため、特に金勝地域の山間部の活性化のプランを考えていただきたい。地域活性のためには若者の定着するまちづくりを。知事交代の時期を踏まえ、県当局との円滑な交流の中で補助金の獲得等、予算の増額を図りたい。 ・まちづくりの件で、推進プロジェクトを最優先すべきと考える。10~20年スパンの話ではないはず。無責任と感じる。 	<p>市政に関するご要望・ご意見につきましては、市政運営の中で活かしていけるよう、継続的に働きかけていきます。</p>

4. 写真



会場設営の様子



開会前の打ち合わせ



市民憲章唱和



議員自己紹介



今回はパワーポイントを使用



参加者から多くの質疑、意見がありました